



く せ ん 薫 泉

学校の目標
 社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
 ・よく考え、進んで学習する子ども
 ・いつも元気で、じょうぶな子ども
 ・こころ豊かで、やさしい子ども

学校と地域でつくる学びの未来

副校長 出口芳子

朝夕めっきり冷え込み、本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。学校では、こどもたちが元氣いっぱい校庭を駆け回って遊んでいます。十一月二十八日から三十日までの三日間は、矢口小学校の体育館がこどもたちの作品でいっぱいになる「矢口文化芸術展」を開催します。こどもたちは、作品を鑑賞することにより、表し方の違いや工夫など、様々な表現に興味をもつきっかけとなり、形や色、表し方の面白さや変化、表現の意図や特徴などをとらえる力を身に付けます。保護者の皆様・地域の皆様にも、学年に応じた表現の深まり、造形的な力等を御鑑賞いただきたく、御来場をお待ちしております。

さて、今年もわずか一か月となり、師走を迎えます。矢口小学校の二期期の学習においては、身近な地域に出かけ、見たり、聞いたり、感じたりしたことを基に充実した学習活動を行っています。二年生の生活科「もつと知りたい探検隊」では、五施設・七店舗に出かけ、町で働く人や住む人の思い、生活との関わり、自分たちの町の良さなどに気付き、体験したことをまとめて発表します。三年生の総合的な学習の時間「好きです この町

矢口の渡」では、地域の特色でもある商店街にフォーカスし、地域と触れ合い、地域を知ること、地域への愛着を育みます。

四年生の総合的な学習の時間「わたしたちが発信します」では、商店街を題材とした「写真俳句」を詠み、店舗やギャラリーに掲示されることによる「句会」を開く等、地域を笑顔にする取組を行っています。

六年生のおおたの未来づくり科「地域で協力商店街フェスティバル」では、商店街が直面する問題に対して何ができるかを主体的に考え、店舗の魅力を伝えるための祭りのブースを運営しようと試行錯誤しています。

また、地域に出かけるときは、地域の人についていねいな言葉遣いで話したり、相手を尊重したりする経験にもなり、こどもたちが社会的マナーを身に付ける機会となります。

このように、学校だけでは経験・体験できない、地域での実り多い学びが矢口小学校のこどもたちの未来を拓きます。

学びポケットの出欠連絡機能について

◎大田区では、個人情報保護の書き込みをネット環境に残すことを避けるために、コメントの定型文を示しています。診断名や症状、出欠以外の内容は書き込まず、電話・連絡帳等でお知らせください。

お知らせ

◎十二月七日には大田区民ホール・アプリコにて、管楽器合唱合同演奏会が行われ、合唱クラブの児童が練習の成果を発表します。
 ◎十二月十四日には、大田スタジアムにて、小学生駅伝大会が行われ、五・六年の選手児童が出場します。

地域清掃に取り組みました

生活指導部

全校児童で地域清掃に取り組みました。(五年生は雨天のため中止)地域の清掃をすることにより、地域の人々とながら関わりを感じるとともに地域の一員であるという自覚をもつことをねらいとしています。また、地域の環境をよりよくしていく気持ちを育てることも大切に行っています。

清掃場所は、学校の周辺や矢口の渡商店街、安方商店街、りんご公園などで行いました。こどもたちは、軍手をして、地域の人にすすんで挨拶をしながら、ごみを拾い、学校で用務員と一緒に可燃ごみ・不燃ごみ・ペットボトルや缶・ガラスやびんに分別し、活動を振り返りました。

活動後のこどもたちの感想には、「私たちの住んでいる街がきれいになってよかったです。」「地域のためになる活動ができて嬉しいです。」という意見がありました。

教科「おおたの未来づくり」について

研究推進部

大田区教育委員会実践校としての、本校の教科「おおたの未来づくり」の取組も今年度で三年目となります。こどもたちが社会で活躍する頃には、「予測困難な時代」を迎えていると予想されます。昔のような詰め込み型の教育ではなく、児童が目的意識をもち、実社会を生きている人と関わり合いながら、主体的に活動する力が求められています。矢口小学校は伝統的に地域のつながりが強く、地域のあたたかな眼差しで元で活動をしている学校です。だからこそ、地域の特色を生かし、地域を愛し、地域のために、地域と共に生きる児童の育成に取り組んでまいります。今年度は一、四年生が素地づくりに取り組んだほか、五年生が亀田製菓と連携して、お米を使った商品開発、六年生が安方商店街と連携して、商店街の店舗の魅力を伝える祭りを行います。